

令和2年度とっとり学力・学習状況調査【児童質問紙調査】 (学習方略・非認知能力等)

※「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）の実施」「学習方略」「非認知能力」の数値は5.0～1.0の間の範囲である。
※数値は、児童質問紙調査でそれぞれの質問に対して5段階（5～1）の回答を集約した結果である。数値が高いほど、よい数値と捉えることができる。

■鳥取市の児童質問紙調査の結果（アクティブ・ラーニングの実施・学習方略・非認知能力）

		R2結果											
		アクティブ・ラーニングの実施	学習方略						非認知能力				
			柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	勤勉性	やりぬく力	学習意欲(算数)
4年生	市平均	4.0	3.4	3.4	3.4	3.0	3.7	3.9	-	-	3.2	-	-
	県平均	4.0	3.4	3.4	3.4	3.0	3.7	3.9	-	-	3.3	-	-
	(鳥取県比 ±ポイント)	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-0.1	-	-
5年生	市平均	3.9	3.3	3.4	3.3	3.1	3.6	3.9	3.6	-	-	-	-
	県平均	3.9	3.3	3.4	3.4	3.1	3.7	3.9	3.7	-	-	-	-
	(鳥取県比 ±ポイント)	0	0	0	-0.1	0	-0.1	0	-0.1	-	-	-	-
6年生	市平均	3.9	3.3	3.4	3.3	3.1	3.7	3.9	-	3.2	-	-	3.5
	県平均	3.9	3.3	3.5	3.4	3.1	3.7	4.0	-	3.3	-	-	3.5
	(鳥取県比 ±ポイント)	0	0	-0.1	-0.1	0	0	-0.1	-	-0.1	-	-	0

※「やりぬく力」は、中学校1年生
・義務教育学校7年生で調査する予定
(令和3年度)

〈参考〉

【学習方略】児童が学習効果を高めるために意図的に行う活動（学習方法や態度）

- ①柔軟的方略 ……自分の状況に合わせて学習方略を柔軟に変更していく活動
- ②プランニング方略 ……計画的に学習に取り組む活動
- ③作業方略 ……ノートに書く、声を出すといった「作業」を中心に学習を進める活動
- ④人的リソース方略 ……友人を利用して学習を進める活動
- ⑤認知的方略 ……より自分の理解度を深めるような学習活動

【非認知能力】自分の感情をコントロールして行動する力があるなどの性格的な特徴

- ①自制心 ……自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力
- ②自己効力感 ……自分はそれが実行できるという期待や自信
- ③勤勉性 ……やるべきことをきちんとやることができる力
- ④やりぬく力 ……自分の目標に向かって粘り強く情熱をもって成し遂げられる力
- ⑤学習意欲（算数） ……算数の勉強に対する意欲

〈県平均との比較〉

- 全体として県平均並である。
- 【アクティブ・ラーニングの実施】 【学習方略】 【非認知能力】は、全ての学年において県平均並である。